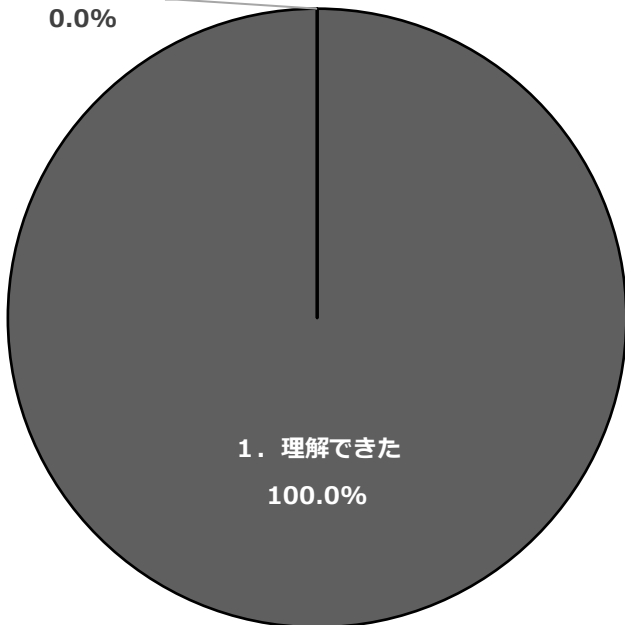


スケアード・ストレイトによる高校生交通安全教室 実施アンケート結果

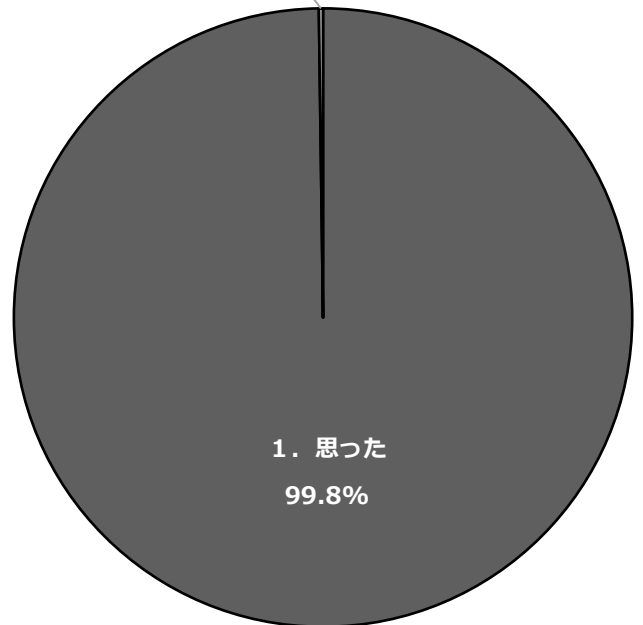
Q1. 交通ルールやマナーの重要性について理解できましたか。

2. あまり理解
できなかった
0.0%

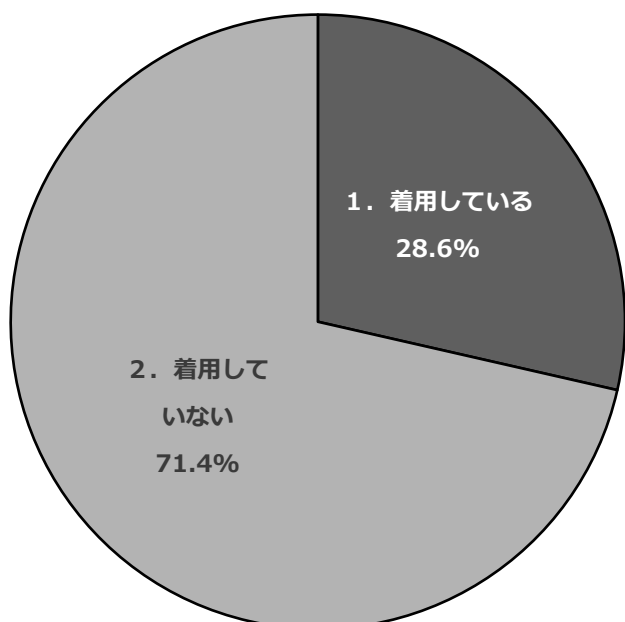


Q2. 交通安全教室に参加して、自転車の走行をもっと注意しなければならないと思いましたか。

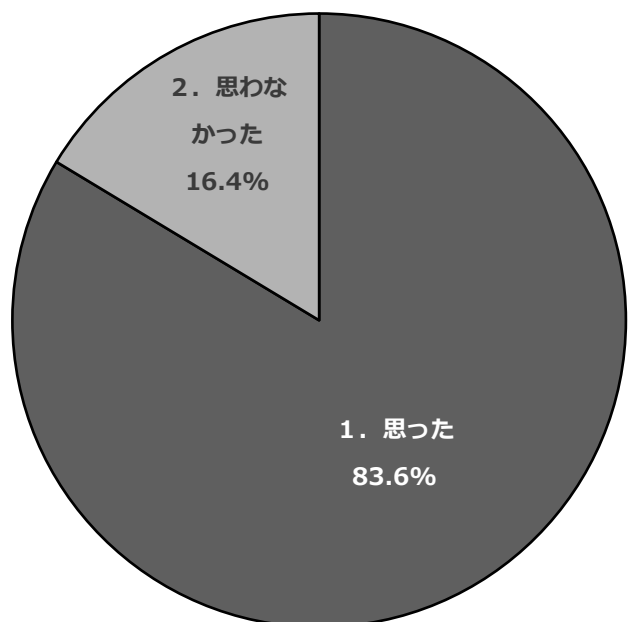
2. 思わなかった
0.2%



Q3. 自転車を利用する際、ヘルメットを着用していますか。



Q4. (Q3で「2. 着用していない」と答えた方にお尋ねします。)交通安全教室に参加して、ヘルメットを着用しようと思いましたか。



Q5. 交通安全教室に参加して思ったことや、感じたことを書いてください。

1年生

- ・事故のどれもがちょっとした不注意や違反などで起こっていたし、遭遇したことのある場面が多かった。また、今回学んだことを家族などにも伝えて、事故はいつ、どこで、誰の身に起こるか分からない怖いことだと知ってもらって、今から少しでも事故の可能性を減らしていこうと思った。
- ・どれだけゆっくり気をつけていても、運転手の死角に入ってしまうえば意味がなくなってしまうので、「自分が気をつければいいや」ではなく、「運転手はどうか」と相手目線でも考えられるようにしていきたい。そうすれば事故に遭う、起こす可能性も減っていくと思ったので、今後取り入れていきたい。
- ・交通ルールが曖昧な部分があるので、自分で調べて、しっかりとルールを守り、歩行者にも車を運転する人にも迷惑をかけないよう気をつけたいと思う。
- ・あそこまでスピードが出るとは、はねられたらあんなにも飛ばされるのかということを身をもって知り、自分の交通事故への認識が甘かったことを感じた。
- ・標識があったとしても、そもそも存在に気づいていなかったり、意味を知らなかったり、当たり前すぎて特に意識をおいていないと、とても大きな事故につながりかねないことが分かった。
- ・並列やながら運転、傘さしは前が見えなかったり、歩行者を傷つけてしまったりと、自分のちょっとした気持ちのゆるみがとても大きな事故につながるということが分かった。

2年生

- ・高校生になってからヘルメットをつけることがなくなり、「気をつければいいかな」と思っていた。でも、今日実際に近くで見えてみると、とても怖くて、頭から下に落ちるときや、こけるときも頭が守られていないと打ってしまう場面がたくさんあったので、これから私もし事故が起きてしまった時に頭を守れるよう、ヘルメットを着用できるようにしたいなと思った。
- ・どの事故も「別に自分は大丈夫だろう」という根拠のない自信や気の緩みが原因のものだと思うので、もし自分が自転車に乗るときや車を運転することになった場合は、安全確認をしっかり行い、常に周りに気をつけながら道路を走ろうと思う。
- ・スタントマンの方の演技を見て、実際にこんなに危険な事故があるのかというのを改めて感じたし、とても怖いと思った。私は普段から自転車を使うので、しっかりとルールを守れるようにしたい。
- ・1年後には自分が車に乗る側になるので、自分が安全運転しているつもりでも、何かの偶然が重なって加害者になることもゼロではないんだと学ぶことができて良かった。
- ・自転車も軽車両として車両の仲間に分類されるので、その自覚を持って常に安全で正しい乗り方をしていきたいと思う。

3年生

- ・自分自身、自転車に乗っていて、「こういうケースあるな」と共感できる場面もあり、事故は身近に起こるものなのだと実感した。
- ・少し前から自動車学校に通い始めたこともあり、さらに考えさせられた。特に、飛び出してくる歩行者や自転車、死角や内輪差などは自動車に乗っていると見えにくいとよく感じるため、さらに気を付けていきたいと思った。
- ・自転車だけが気をつけていても事故は起こってしまうので、歩行者や車を運転する立場になっても、さまざまな危険を考えて過ごしていきたいと思った。
- ・私は大学生になっても自転車を利用するので、交通ルールをしっかり確認し、自分自身も相手の身も守れるよう心掛けていきたい。来年からは青切符が適用されるので、それに合わせて改めて内容を確認し、今回の教室を意味のあるものにしていきたいと思う。
- ・自転車の並列走行は、友達とよくしてしまうことがあるが、自転車同士でも危ないし、車側からしても非常に邪魔で事故の原因になるので、やめようと思う。実際に事故の再現を見て、車に当たったらものすごく飛ばされ、頭を打ったら命を落とすレベルだと知り、恐怖を感じた。